



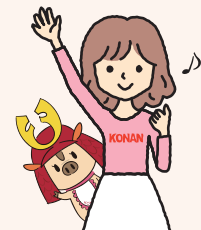
岡本ぶらり

第16回

私たちが紹介します

ナビゲーター/
もっとさん と なんぼーくん

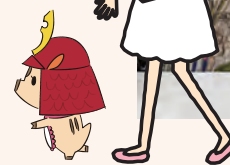
「岡本」のまちをもっともっと知りたい!
好奇心旺盛な女の子と、ご存知甲南
の公式キャラクター。



番外編 あしや今昔

今回の岡本ぶらりは番外編として
芦屋をクローズアップ

1963(昭和38)年、甲南高等学校・中学校が
芦屋市山手町に移転して以来、
阪急芦屋川駅とJR芦屋駅は最寄駅として
今も昔も馴染みのある場所です。
駅を中心に芦屋の今昔をたどってみました。



指定文化財となった 芦屋川の景観

六甲山地を源流に、芦屋市を縦断する
ように流れる芦屋川。自然が豊かで、
流域には旧山邑家別邸であるヨドコウ迎
賓館(国指定重要文化財)や芦屋仏教会
館(国の登録有形文化財)など、歴史的
文化遺産が数多くあるのも特筆すべき
ところです。芦屋川は水の恩恵をもたら
す半面、過去には頻繁に洪水が起これ、
1938(昭和13)年の阪神大水害で甚大
な被害をもたらしました。天井川であり、
扇状地という芦屋の地形にも大きくわか
わる芦屋川。2012(平成24)年、「芦屋
川の文化的景観」として、芦屋市指定文
化財に指定されています。



知っていますか？芦屋に湧く温泉

住宅街の一角にある「芦屋市立あしや温泉」は、地下1000mから湧出する
温泉です。泉質は良質なナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉。源泉かけ流
しの熱めのお湯は、体も心も芯から温めてくれます。



JR芦屋駅

今



現在は橋上駅舎で、駅北側には商業施設「モンテメール」が直結。

昔



橋上駅舎になる前の国鉄芦屋駅。当時の駅舎は瓦屋根だった。

JR芦屋駅の 移り変わり

国鉄(現JR)芦屋駅ができたのは
1913(大正2)年。当時すでに国鉄は
大阪から神戸まで開通していましたが芦
屋に駅はなく、芦屋市の前身である精道
村が請願し、用地や費用を寄付して新設
されたそうです。左写真は1968(昭
和43)年のもので、現在の橋上駅舎
に改築されたのはこの2年後です。今で
は、駅直結の商業施設「モンテメール」に
より、駅自体の北側は見えませんが、開業
110周年にあたる2023(令和5)
年に芦屋駅のリニューアルが完成。駅ナカ
にはオーガニック系食品を扱う店や、衣料
品店も並んでいます。構内はシックでエレ
ガントな雰囲気生まれ変わり、芦屋の
玄関口としてふさわしい佇まいです。

JR芦屋駅周辺 再開発の歴史

さかのぼること約半世紀、国鉄芦屋駅
周辺が再開発計画区域に位置付けされ
たのは1971(昭和46)年。その8年後、
駅北地区の再開発事業が始まります。
1980年代には、市場や商店が並んで
いた駅前には4つの建物からなる大型商業
施設「ラポルテ」に、旅館として約千坪の
敷地があった竹園旅館は「ホテル竹園芦
屋」になり、芦屋の風景が大きく変わら
した。

駅南地区に関しては、財政難で長ら
く延期されていましたが、2018(平
成30)年に再開発事業の事業計画が決
定し、2026(令和8)年工事着手予
定です。新しいまちづくりが進む芦屋。
2029(令和11)年の完成が楽しみです。

JR 芦屋駅 周辺

今



駅北地区の「ラポルテ」本館。
東に「ホテル竹園芦屋」が並ぶ。

昔



再開発前の風景。国鉄芦屋駅を挟み、北(写真左)も南(写真右)も低い屋根がひしめく。

阪急 芦屋川駅

今



北側ホームにのみ窓があり、
冬の六甲おろしを防いでいる。

昔



電車と自動車が駅の上と下で立体交差。
1965(昭和40)年ごろ。

阪急芦屋川駅と 阪急バス

今



デザインは変わっても、車体の色や2本のラインは同じ。

昔



通学する学生でにぎわう阪急芦屋川駅付近。バスのデザインがレトロ。



※一部写真は芦屋市秘書・広報課提供